

大型産業団地造成現場にて「ドロンパC」採用

概要

中部地方の大型産業団地造成現場では、降雨時に沈みにくい濁水が大量に発生し、その対応に苦慮されていました。

農業用水源・下流域の水環境保全および産廃費削減のために、①放流水のpH、EC(塩分濃度の指標)をほとんど変えないこと、②沈殿物が天然成分であること、③実用的な反応時間と沈降速度であること、が求められました。

「ドロンパC」はそのいずれにおいても高い評価を頂き、採用に至りました。



現場

成果

	濁度	pH	EC ms/m
原水	607	7.2	8.82
処理水	14~2.5	7.2	8.88

※ドロンパC添加量:500~800mg/L



原水



処理水

効果
抜群!

大規模な水処理プラントが不要



反応槽状況

ドロンパCと原水濁質が攪拌混合されています。



沈砂池状況

凝集フロックが粗大化しています。



沈砂池状況

清澄な上澄みが連続的に放流されています。

沈殿物の処理について

泥砂池に溜まった土砂(殿物)はポンプ浚渫により回収し、天日乾燥することで土砂として再利用する予定です。